

喜多方市立小中学校適正規模適正配置第1次実施計画（案）について

1 計画の目的

全国的に少子化が進むなか、本市においても児童生徒数が大幅に減少しており、小中学校の小規模化による教育環境への様々な課題が懸念されております。

このため、本市学校教育の基本目標に掲げる「全ての子どもの『生きる力』を育む」ことを実現するためには、適正な学校規模に基づく学校の適正な配置を推進し、複式学級など学校の小規模化に伴う課題への対応、併せて学校施設の老朽化への対応等、子どもたちのより良い教育環境の整備に取り組む必要があります。

本計画では、喜多方市立小中学校適正規模適正配置基本方針（以下、「基本方針」という。）に基づき、計画的に小中学校の適正規模適正配置を進めるため、喜多方市立小中学校適正規模適正配置第1次実施計画を策定します。

2 本市が目指す学校教育

本市の教育振興基本計画「地域を支え未来を拓く人づくりプラン」では、「自分と郷土を誇り、自立と共生の精神をもって、たくましく生きる喜多方人の育成」を基本理念とし、学校教育、生涯学習・スポーツ、文化・芸術の分野ごとに基本目標を掲げています。

学校教育においては、「全ての子どもの『生きる力』を育む」ことを基本目標に掲げ、全ての子ども一人一人の夢、希望、目標等を踏まえ、可能性やよさ、持ち味、特徴を引き出し、活かし、伸ばす教育に取り組むことを方針としています。

具体的には、全ての子どもの『生きる力』を育むための施策目標として、①確かな学力の育成、②豊かな心の育成、③健やかな体づくり、④一人一人のニーズに応じた教育、⑤学びを支える環境の整備を掲げています。

このうち、「英語力の向上」「小学校農業科の推進」「特別支援教育の充実」「ICT 活用力と情報活用能力及び情報モラルの育成」については、特に力を入れて取り組んでいきます。

3 適正規模適正配置の基本的な考え方

喜多方市教育委員会では、子どもたちにとってより良い教育環境を整備する観点から、基本方針により、本市における適正規模適正配置の基本的な考え方を定めています。

適正規模適正配置の基本的な考え方

《本市が目指すべき望ましい学習環境》

- ア 意欲や向上心が高められる環境として、多様な考え方に触れる機会や学び合う機会が多い環境
- イ 自他のよさに気づき認め合える環境として、集団の中で自分の考えを伝え、多くの称賛や意見をもらう機会が多い環境、集団の中で他者を尊重し自分の考えを伝える経験を数多く積むことができる環境
- ウ 教員による指導体制をより充実できる環境として、教員同士が研鑽し合う機会が多く自己研修に励む機会が確保できる環境、児童生徒一人一人に対し複数の教員が関わることのできる環境、そして中学校では専門性の高い教員を教科ごとに配置できる環境



《地域と子ども、地域と学校とのより望ましい関わり合いにより、子どもを育む環境》

- ア これまでの地域での活動も考慮した学区編成
- イ 授業や部活動、その他教育活動全般にわたり、地域とよりよい関わり合いや連携の中で子どもを育む学校環境の構築



子どもたちにとって望ましい学習環境を整えていくため、学級や学年に相応の児童生徒数が確保され、きめ細かな指導や対応が日々展開できる教職員体制となるような学校規模を理想としつつ、児童生徒の生活や地域との関わり、学校と地域との連携等に配慮し、具体的な学校規模と配置に関する「実施計画（案）」を検討します。

(1) 適正規模の基準

適正規模適正配置の基本的な考え方を踏まえ、本市における適正規模の基準を次のとおりとします。

【小学校】

- 1 学級あたり児童数 17 人以上
- 1 学年の学級数 2 学級以上が望ましい

【中学校】

- 1 学級あたり生徒数 17 人以上
- 1 学年の学級数 3 学級以上が望ましい

【共通】

児童生徒数の減少に伴い、今後、複式学級の解消が見込まれない場合は、できる限り速やかに学校の再編を検討します。

《参考：学級編制の基準》

(1) 1 学級の基準

公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律（以下、標準法という。）による基準

- ・ 小学校第 1～4 学年 35 人
- ・ 小学校第 5～6 学年 40 人
- ・ 中学校 40 人

上記標準法の範囲内で福島県教育委員会が定める基準

- ・ 小学校第 1・2 学年 30 人
- ・ 中学校第 1 学年 30 人
- ・ その他の学年 30 人程度

(2) 複式学級の基準（標準法）2 つの学年の児童生徒数の合計

- ・ 小学校 16 人以下（第 1 学年の児童を含む学級は 8 人以下）
- ・ 中学校 8 人以下

(3) 望ましい学級数の考え方(公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引)
(H27 文部科学省)

- ・ 小学校では、まず複式学級を解消するためには少なくとも1学年1学級以上(6学級以上)であることが必要となります。また、全学年でクラス替えを可能としたり、学習活動の特質に応じて学級を超えた集団を編成したり、同学年に複数教員を配置するためには1学年2学級以上(12学級以上)あることが望ましいものと考えられます。
- ・ 中学校についても、全学年でクラス替えを可能としたり、学級を超えた集団編成を可能としたり、同学年に複数教員を配置するためには、少なくとも1学年2学級以上(6学級以上)が必要となります。また、免許外指導をなくしたり、全ての授業で教科担任による学習指導を行ったりするためには、少なくとも9学級以上を確保することが望ましいものと考えられます。

(2) 適正配置の基準

適正規模適正配置の基本的な考え方を踏まえ、本市における適正配置の基準を次のとおりとします。

【通学区域】

複数校を統合し新たな通学区域を設定する場合は、通学区域、地域のまとまりに配慮し、既存の通学区域を分断しないことを基本とします。

なお、同じ小学校に通学している児童は、一つの中学校へ進学することを原則とします。

【通学時間】

通学手段に関わらず、小中学校とも概ね60分まで

【通学距離】

小学生 概ね4kmまで

中学校 概ね6kmまで（概ね3km以上については、各学校において自転車通学を認めることとします。）

上記基準については、通学上の安全確保を第一に考え、学校の状況、道路事情、冬期間、子どもの体力面等に応じて弾力的な運用を行うこととします。

また、通学における児童生徒の心身への負担の軽減や安全性の確保を図るため、スクールバス等の通学手段を検討することとします。

《参考：通学距離等に関する法令基準等》

(1) 義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令

（適正な学校規模の条件）

第四条 法第三条第一項第四号の適正な規模の条件は、次の各号に掲げるものとする。

一（略）

二 通学距離が、小学校にあつてはおおむね四キロメートル以内、中学校にあつてはおおむね六キロメートル以内であること。

(2) 公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引（H27 文部科学省）

- ・徒歩や自転車による通学距離としては、小学校で4km以内、中学校で6km以内という基準はおおよその目安として引き続き妥当であると考えられます。
- ・通学時間について、「おおむね1時間以内」を一応の目安とした上で、各市町村において、地域の実情や児童生徒の実態に応じて1時間以上や1時間以内に設定することの適否も含めた判断を行うことが適当であると考えられます。

4 適正規模適正配置の実施方法等

(1) 対象

市内全域の小中学校

ただし、上三宮小学校については、令和4年度より緊急的に小規模特認校制度を導入しており、児童数の増加や特色ある教育内容の効果について、年度ごとの評価を重ねながら制度の継続について検討することとしているため当面の間、現状維持とします。

(2) 学校の形態

学校の統合は、原則として、対象となる学校の学級数や児童数等の規模にかかわらず、対等な関係の統合とし、既存の学校に吸収統合という形ではなく「新たな学校を設立する」という考え方に立つものとします。

また、地域性を生かした特色ある学校づくりを推進するため、保護者や地域の要望なども踏まえながら、小中一貫教育学校（義務教育学校を含む）※の新設についても検討することとします。

(3) 学校の位置

学校の統合による新たな学校の設置場所は、既存施設のある場所を基本とし、学校の面積、建築年数、施設の状況や教室数、位置、周辺の環境、児童生徒の通学距離等を勘案し決定します。

ただし、既存施設のある場所以外で、より適切であると考えられる場合には、他の場所を検討することとします。

(4) 適正規模適正配置の進め方

将来を担う子どもたちのより良い教育環境の整備が目的であり、目的達成に向け、市民の方々へ十分な説明を行い、理解を得ながら進めていきます。

※小中一貫教育学校（義務教育学校を含む）

教育目標や教育課程について、9年間の一貫性を持たせた教育です。9年間の学習のつながりの強化、中学進学時の不安の解消など、様々な効果が期待できます。

5 適正規模適正配置にあたって配慮すべき事項への対応

(1) 児童生徒への配慮

人数が増えることによって可能となる様々な学習体系や、これまでにできなかった体験ができるような学びの環境づくりを進めていきます。

また、障がいを持つ児童生徒に配慮し、特別支援教育の充実を図ることができるような環境づくりを進めます。

部活動など学習以外については、充実した学校生活を送ることができるような取組を検討します。

更に、学校の統合にあたっては、統合前から学校間の合同授業や行事等の交流事業を計画的に実施し、児童生徒が溶け込みやすくなるような環境づくりを進めます。

(2) 通学への配慮

通学路の変更に伴う危険箇所の再点検を行い、通学の安全対策に努めます。

また、学校統合に伴い新たに遠距離通学となる児童生徒については、負担軽減や安全面等に配慮しながら、スクールバスの運行等について検討します。

(3) 地域と学校との関わりへの配慮

地域にとって魅力のある学校とするため、幅広い地域住民等の参画を得て地域コミュニティと学校との連携を強化し、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える活動（郷土学習、地域の行事、部活動等）を推進します。

また、地域住民や保護者の意見を学校運営に反映させる仕組みであるコミュニティ・スクール（学校運営協議会）を有効に機能させ「地域とともにある学校づくり」の実現を推進していきます。

(4) 地域の拠点機能としての配慮（学校施設・跡地利活用）

学校は、長い歴史を有し、これまで地域コミュニティの中心的役割も担ってきたことから、学校施設・跡地の利活用については、まちづくりの観点も含め、地域住民と連携・協力して検討を進めることとします。

6 第1次実施計画の対象

第1次実施計画の対象は、児童生徒の減少状況、複式学級の編制状況、保護者や地域住民の意向、施設の老朽化状況等を総合的に勘案した結果、次の通りとします。

- ・第一小学校の分散進学解消
- ・第二中学校と会北中学校の統合
- ・熱塩小学校と加納小学校の統合
- ・山都中学校と高郷中学校の統合

7 第1次実施計画の期間

令和6年度～令和10年度（5年間）

8 次期実施計画の考え方

第1次実施計画の対象とならなかった学校については、次期実施計画の策定に向け、下記の視点を参考に再編案の検討を継続することとします。

- ・児童生徒の減少状況
- ・複式学級の編制状況
- ・保護者や地域住民の意向
- ・施設の老朽化状況

9 年次計画

(1) 令和7年度

ア 第一小学校の分散進学解消

① 概要

現在、第一小学校の卒業生は、第二中学校と第三中学校とに分かれて進学しており、市内の小学校で同じ小学校から同じ中学校に進学しないのは、第一小学校のみとなっております。

このため、学びの系統性や子どもたちの人間関係を重視し、第一小学校の卒業生は全て第二中学校に進学することとします。

② 時期

令和7年度～9年度（3年間の経過期間を設ける）

③ 対象児童見込数

令和7年度 11人

令和8年度 10人

令和9年度 6人

(2) 令和 8 年度

ア 第二中学校と会北中学校の統合

① 概要

第二中学校は、すべての学年で 3 学級を維持するものの 1 学級当たりの人数は減少が見込まれています。

会北中学校では、1 学年当たり 1 学級を維持するものの、1 学級当たりの生徒数の減少が進行していく見込みとなっています。

このため、第二中学校と会北中学校を統合し、現在の第二中学校を新たな中学校の場所とします。

② 時期

令和 8 年度

● 学校別状況

※令和 5 年度は、令和 5 年 5 月 1 日現在の普通学級対象児童生徒数及び学級数で、特別支援学級の対象児童生徒数及び学級数を含みません。

※小学校は令和 11 年度、中学校は令和 17 年度について、令和 5 年 5 月 1 日現在の住民基本台帳を基に推計することができる最長期間での値として表示しています。

※令和 45 年度は、令和 5 年度児童生徒数に長期人口ビジョン基準モデル人口の人口減少率を乗じて推計しています。

現在のまま存続した場合

第二中学校

児童数、学級数の現状と将来推計

令和 5 年度				令和 17 年度		
学年	人数	学級数		学年	人数	学級数
1	81	3	→	1	46	2
2	76	3		2	82	3
3	104	3		3	62	2
計	261	9		計	190	7

学校施設の状況

	建築年	経過年数 (A)	法定耐用年数 (B)	(B) を超過する年度
校舎	H6	28	47	R23
体育館	H8	26	47	R25

通学の状況等

・遠距離通学生徒は、自転車を利用し通学している。

会北中学校

児童数、学級数の現状と将来推計

令和 5 年度		
学年	人数	学級数
1	8	1
2	13	1
3	8	1
計	29	3



令和 17 年度		
学年	人数	学級数
1	7	1
2	9	1
3	9	1
計	25	3

学校施設の状況

	建築年	経過年数 (A)	法定耐用年数 (B)	(B) を超過する年度
校舎	S57	40	47	R11
体育館	S58	39	47	R12

通学の状況等

・遠距離通学生徒は、自転車を利用し通学している。

二中と会北中が統合した場合

	現 在 令和 5 年度	
	人数	学級数
学校名		
二中	261	9
会北中	29	3
計	290	



	住基推計限界 令和 17 年度	
	人数	学級数
学校名		
二中	190	7
会北中	25	3
統合後	215	



人口ビジョン推計 令和 45 年度
人数
129
14
143

学年別 状況	令和 17 年度	
	人数	学級数
学年		
1	53	2
2	91	3
3	71	3
計	215	8

(3) 令和 9 年度

ア 熱塩小学校と加納小学校の統合

① 概要

熱塩小学校、加納小学校共に複式学級が既に編制されており、今後も児童数の減少が進み令和 8 年度以降、完全複式（複式 3 学級）の発生が見込まれることから、熱塩小学校、加納小学校の 2 校を統合します。

新たな小学校の場所は、既存施設のある場所を含め、より適切なところへ設置することとします。

② 時期

令和 9 年度

● 学校別状況

現在のまま存続した場合

熱塩小学校

児童数、学級数の現状と将来推計

令和 5 年度		
学年	人数	学級数
1	4	1
2	2	
3	3	1
4	6	
5	10	1
6	9	1
計	34	4



令和 11 年度		
学年	人数	学級数
1	4	1
2	5	1
3	1	1
4	6	
5	4	1
6	6	
計	26	4

※令和 9 年度には完全複式学級（複式 3 学級）の発生が見込まれます。

学校施設の状況

	建築年	経過年数 (A)	法定耐用年数 (B)	(B) を超過する年度
校舎	S47	50	47	超過
体育館	S47	50	47	超過

通学の状況等

- ・ 遠距離通学の児童がデマンド交通を利用し通学している。

加納小学校

児童数、学級数の現状と将来推計

令和 5 年度		
学年	人数	学級数
1	5	1
2	8	1
3	5	1
4	7	1
5	11	1
6	10	1
計	46	5



令和 11 年度		
学年	人数	学級数
1	3	1
2	4	1
3	8	1
4	4	1
5	3	1
6	8	1
計	30	3

※令和 8 年度に完全複式学級（複式 3 学級）の発生が見込まれます。

学校施設の状況

	建築年	経過年数 (A)	法定耐用年数 (B)	(B) を超過する年度
校舎	S40	57	47	超過
体育館	S41	56	47	超過

通学の状況等

・全児童が徒歩で通学している。

熱塩小と加納小が統合した場合

	現 在 令和 5 年度	
	人数	学級数
学校名		
熱塩小	34	4
加納小	46	5
計	80	



	住基推計限界 令和 11 年度	
	人数	学級数
学校名		
熱塩小	26	4
加納小	30	3
統合後	56	



人口ビジョン推計 令和 45 年度
人数
16
22
38

学年別 状況	令和 11 年度	
	人数	学級数
学年		
1	7	1
2	9	1
3	9	1
4	10	1
5	7	1
6	14	1
計	56	6

(4) 令和 10 年度

ア 山都中学校と高郷中学校の統合

① 概要

山都中学校は、現状 1 学年 1 学級ですが、今後の生徒数の減少により、今後も全ての学年で 1 学級は維持していくものの 1 学級当たりの人数の減少が進行するものと見込まれます。

高郷中学校は、現状の学級数は 1 学年 1 学級ですが、今後の生徒数の減少により令和 14 年度には、複式学級の編制が見込まれます。

このため、山都中学校と高郷中学校を統合し、新たな中学校の場所は、山都地区の既存施設のある場所を含め、より適切なところへ設置することとします。

② 時期

令和 10 年度

● 学校別状況

現在のまま存続した場合

山都中学校

児童数、学級数の現状と将来推計

令和 5 年度		
学年	人数	学級数
1	6	1
2	17	1
3	10	1
計	33	3



令和 17 年度		
学年	人数	学級数
1	7	1
2	10	1
3	8	1
計	25	3

学校施設の状況

	建築年	経過年数 (A)	法定耐用年数 (B)	(B) を超過する年度
校舎	S61	36	47	R15
体育館	H9	25	47	R26

通学の状況等

・遠距離通学生徒は、スクールバス 4 コース及び自転車を利用し通学している。

高郷中学校

児童数、学級数の現状と将来推計

令和 5 年度			令和 17 年度		
学年	人数	学級数	学年	人数	学級数
1	9	1	1	4	1
2	7	1	2	4	
3	9	1	3	3	1
計	25	3	計	11	2

※令和 14 年度から複式学級が編制されると見込まれています。(全校生徒数 17 人)

学校施設の状況

	建築年	経過年数 (A)	法定耐用年数 (B)	(B) を超過する年度
校舎	S43	54	47	超過
体育館	S44	53	47	超過

通学の状況等

・遠距離通学生徒は、スクールバス 3 コース及び自転車を利用し通学している。

山都中と高郷中が統合した場合

	現 在 令和 5 年度			住基推計限界 令和 17 年度				人口ビジョン推計 令和 45 年度
	学校名	人数		学級数	学校名	人数		学級数
	山都中	33	3		山都中	25	3	16
	高郷中	25	3		高郷中	11	2	12
	計	58			統合後	36		28

学年別 状況	令和 17 年度	
	学年	人数
1	11	1
2	14	1
3	11	1
計	36	3

10 参考資料

総括表

地区	学校名	小学校	中学校	方向性	第1次実施計画 R6～10
熱塩加納・喜多方地区	熱塩小学校 加納小学校	1		統合に向け調整・準備	● R9
	第二中学校 会北中学校		1	統合に向け調整・準備	● R8
喜多方地区	上三宮小学校	1		◆分散進学の解消 R7 一小生は全員二中へ進学 再編案の検討を継続	
	松山小学校	1			
	第一小学校	1 ◆			
	第三小学校	1			
	第二小学校	1			
	慶徳小学校	1			
	豊川小学校	1			
	関柴小学校	1			
	熊倉小学校	1			
	第一中学校		1		
	第三中学校		1		
塩川地区	塩川小学校	1			
	堂島小学校	1			
	姥堂小学校	1			
	駒形小学校	1			
	塩川中学校		1		
山都・高郷地区	山都小学校	1			
	高郷小学校	1			
	山都中学校 高郷中学校		1	統合に向け調整・準備	● R10
	校数 (現行との比較)	16 △ 1	5 △ 2		

各小学校今後の児童数の推計

R5 : R5.5.1現在の児童数（特別支援児童数、学級数を除く）

R6～：R5.5.1現在の住民基本台帳を基に児童数を推計

※網掛け部は複式学級ある（の出現が予想される）学校

		R5		R6		R7		R8		R9		R10		R11	
		学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数
第一小	1年	2	64	3	66	2	58	3	68	2	53	3	71	2	35
	2年	3	75	2	64	3	66	2	58	3	68	2	53	3	71
	3年	3	72	3	75	2	64	2	66	2	58	3	68	2	53
	4年	3	74	3	72	3	75	2	64	2	66	2	58	3	68
	5年	2	61	3	74	3	72	3	75	2	64	2	66	2	58
	6年	2	60	2	61	3	74	3	72	3	75	2	64	2	66
	合計	15	406	16	412	16	409	15	403	14	384	14	380	14	351
第二小	1年	2	55	3	67	2	44	2	48	2	34	2	48	2	41
	2年	2	46	2	55	3	67	2	44	2	48	2	34	2	48
	3年	2	58	2	46	2	55	3	67	2	44	2	48	2	34
	4年	2	52	2	58	2	46	2	55	3	67	2	44	2	48
	5年	2	54	2	52	2	58	2	46	2	55	3	67	2	44
	6年	2	41	2	54	2	52	2	58	2	46	2	55	3	67
	合計	12	306	13	332	13	322	13	318	13	294	13	296	13	282
松山小	1年	1	20	1	15	1	25	1	18	1	14	1	16	1	15
	2年	1	23	1	20	1	15	1	25	1	18	1	14	1	16
	3年	1	24	1	23	1	20	1	15	1	25	1	18	1	14
	4年	1	25	1	24	1	23	1	20	1	15	1	25	1	18
	5年	1	20	1	25	1	24	1	23	1	20	1	15	1	25
	6年	1	16	1	20	1	25	1	24	1	23	1	20	1	15
	合計	6	128	6	127	6	132	6	125	6	115	6	108	6	103
上三宮小	1年	1	4	1	3	1	4	1	2	1	5	1	3	1	4
	2年	1	2	1	4	1	3	1	4	1	2	1	5	1	3
	3年	1	3	1	2	1	4	1	3	1	4	1	2	1	5
	4年	1	2	1	3	1	2	1	4	1	3	1	4	1	2
	5年	1	5	1	2	1	3	1	2	1	4	1	3	1	4
	6年	1	3	1	5	1	2	1	3	1	2	1	4	1	3
	合計	3	19	3	19	3	18	3	18	3	20	3	21	3	21
第三小	1年	1	11	1	4	1	8	1	5	1	5	1	2	1	9
	2年	1	12	1	11	1	4	1	8	1	5	1	5	1	2
	3年	1	12	1	12	1	11	1	4	1	8	1	5	1	5
	4年	1	13	1	12	1	12	1	11	1	4	1	8	1	5
	5年	1	9	1	13	1	12	1	12	1	11	1	4	1	8
	6年	1	14	1	9	1	13	1	12	1	12	1	11	1	4
	合計	6	71	6	61	6	60	6	52	6	45	6	35	6	33
関柴小	1年	1	16	1	13	1	19	1	14	1	15	1	15	1	9
	2年	1	13	1	16	1	13	1	19	1	14	1	15	1	15
	3年	1	18	1	13	1	16	1	13	1	19	1	14	1	15
	4年	1	15	1	18	1	13	1	16	1	13	1	19	1	14
	5年	1	12	1	15	1	18	1	13	1	16	1	13	1	19
	6年	1	19	1	12	1	15	1	18	1	13	1	16	1	13
	合計	6	93	6	87	6	94	6	93	6	90	6	92	6	85
熊倉小	1年	1	10	1	6	1	13	1	8	1	1	1	9	1	2
	2年	1	9	1	10	1	6	1	13	1	8	1	1	1	9
	3年	1	11	1	9	1	10	1	6	1	13	1	8	1	1
	4年	1	10	1	11	1	9	1	10	1	6	1	13	1	8
	5年	1	12	1	10	1	11	1	9	1	10	1	6	1	13
	6年	1	11	1	12	1	10	1	11	1	9	1	10	1	6
	合計	6	63	6	58	6	59	6	57	6	47	6	47	6	39
豊川小	1年	1	15	1	12	1	11	1	11	1	17	1	12	1	12
	2年	1	15	1	15	1	12	1	11	1	11	1	17	1	12
	3年	1	15	1	15	1	15	1	12	1	11	1	11	1	17
	4年	1	18	1	15	1	15	1	15	1	12	1	11	1	11
	5年	1	15	1	18	1	15	1	15	1	15	1	12	1	11
	6年	1	16	1	15	1	18	1	15	1	15	1	15	1	12
	合計	6	94	6	90	6	86	6	79	6	81	6	78	6	75
慶徳小	1年	1	8	1	7	1	7	1	7	1	1	1	10	1	2
	2年	1	7	1	8	1	7	1	7	1	7	1	1	1	10
	3年	1	5	1	7	1	8	1	7	1	7	1	7	1	1
	4年	1	11	1	5	1	7	1	8	1	7	1	7	1	7
	5年	1	14	1	11	1	5	1	7	1	8	1	7	1	7
	6年	1	5	1	14	1	11	1	5	1	7	1	8	1	7
	合計	5	50	5	52	4	45	4	41	3	37	4	40	4	34

各小学校今後の児童数の推計

R5 : R5.5.1現在の児童数（特別支援児童数、学級数を除く）

R6～：R5.5.1現在の住民基本台帳を基に児童数を推計

※網掛け部は複式学級ある（の出現が予想される）学校

		R5		R6		R7		R8		R9		R10		R11	
		学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数
熱塩小	1年	1	4	1	6	1	4	1	6	1	1	1	5	1	4
	2年		2	1	4	1	6	1	4		6	1	1	1	5
	3年	1	3	1	2	1	4	1	6	1	4	1	6	1	1
	4年	1	6	1	3	1	2	1	4	1	6	1	4	1	6
	5年	1	10	1	6	1	3	1	2	1	4	1	6	1	4
	6年	1	9		10		6		3		2		4		6
	合計	4	34	4	31	4	25	4	25	3	23	3	26	4	26
加納小	1年	1	5	1	8	1	3	1	4	1	8	1	4	1	3
	2年	1	8	1	5	1	8			1	4	1	8		4
	3年	1	5	1	8	1	5	1	8	1	3	1	4	1	8
	4年	1	7	1	5	1	8	1	5	1	8	1	3	1	4
	5年	1	11	1	7	1	5	1	8	1	5	1	8	1	3
	6年	1	10	1	11		7		5		8		5		8
	合計	5	46	5	44	4	36	3	33	4	36	4	32	3	30
堂島小	1年	1	8	1	8	1	6	1	5	1	3	1	2	1	4
	2年	1	10	1	8	1	8	1	6	1	5	1	3	1	2
	3年	1	9	1	10	1	8	1	8	1	6	1	5	1	3
	4年	1	8	1	9	1	10	1	8	1	8	1	6	1	5
	5年	1	9	1	8	1	9	1	10	1	8	1	8	1	6
	6年	1	9	1	9	1	8	1	9	1	10		8		8
	合計	6	53	6	52	5	49	5	46	4	40	3	32	3	28
塩川小	1年	3	69	3	67	3	65	2	55	2	54	2	49	2	45
	2年	2	58	3	69	3	67	3	65	2	55	2	54	2	49
	3年	3	87	2	58	3	69	3	67	2	65	2	55	2	54
	4年	2	53	3	87	2	58	3	69	3	67	2	65	2	55
	5年	2	68	2	53	3	87	2	58	3	69	3	67	2	65
	6年	3	71	2	68	2	53	3	87	2	58	3	69	3	67
	合計	15	406	15	402	16	399	16	401	14	368	14	359	13	335
姥堂小	1年	1	9	1	5	1	3	1	7	1	7	1	5	1	5
	2年	1	9	1	9	1	5	1	3	1	7	1	7	1	5
	3年	1	10	1	9	1	9	1	5	1	3	1	7	1	7
	4年	1	6	1	10	1	9	1	9	1	5	1	3	1	7
	5年	1	7	1	6	1	10	1	9	1	9	1	5	1	3
	6年	1	5	1	7	1	6	1	10	1	9	1	9	1	5
	合計	4	46	5	46	4	42	5	43	4	40	4	36	4	32
駒形小	1年	1	8	1	11	1	8	1	9	1	5	1	6	1	3
	2年	1	14	1	8	1	11	1	8	1	9	1	5	1	6
	3年	1	6	1	14	1	8	1	11	1	8	1	9	1	5
	4年	1	5	1	6	1	14	1	8	1	11	1	8	1	9
	5年	1	9	1	5	1	6	1	14	1	8	1	11	1	8
	6年	1	13	1	9	1	5	1	6	1	14	1	8	1	11
	合計	5	55	5	53	5	52	6	56	6	55	5	47	5	42
山都小	1年	1	7	1	14	1	9	1	9	1	8	1	10	1	7
	2年	1	13	1	7	1	14	1	9	1	9	1	8	1	10
	3年	1	11	1	13	1	7	1	14	1	9	1	9	1	8
	4年	1	19	1	11	1	13	1	7	1	14	1	9	1	9
	5年	1	12	1	19	1	11	1	13	1	7	1	14	1	9
	6年	1	17	1	12	1	19	1	11	1	13	1	7	1	14
	合計	6	79	6	76	6	73	6	63	6	60	6	57	6	57
高郷小	1年	1	8	1	10	1	3	1	4	1	3	1	4	1	4
	2年	1	6	1	8	1	10	1	3	1	4	1	3	1	4
	3年	1	9	1	6	1	8	1	10	1	3	1	4	1	3
	4年	1	14	1	9	1	6	1	8	1	10	1	3	1	4
	5年	1	5	1	14	1	9	1	6	1	8	1	10	1	3
	6年	1	12	1	5	1	14	1	9	1	6	1	8	1	10
	合計	5	54	5	52	5	50	4	40	3	34	4	32	3	28
総合計		115	2,003	118	1,994	113	1,951	112	1,893	105	1,769	102	1,718	102	1,601

R5 : R5.5.1現在の児童生徒数（特別支援生徒数、学級数を除く）

R6～：R5.5.1現在の住民基本台帳を基に生徒数を推計

※網掛け部は複式学級ある（の出現が予想される）学校

各中学校の今後の生徒数の推計

		R5		R6		R7		R8		R9		R10		R11		R12		R13		R14		R15		R16		R17	
		学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
第一中	1年	3	92	3	64	3	81	3	80	3	77	3	69	3	77	3	86	3	62	3	66	2	52	3	70	2	55
	2年	3	83	3	92	2	64	3	81	3	80	3	77	3	69	3	77	3	86	2	62	2	66	2	52	3	70
	3年	3	86	3	83	3	92	2	64	3	81	3	80	3	77	3	69	3	77	3	86	2	62	2	66	2	52
	合計	9	261	9	239	8	237	8	225	9	238	9	226	9	223	9	232	9	225	8	214	6	180	7	188	7	177
第二中	1年	3	81	3	83	3	87	4	97	4	101	3	87	3	82	3	75	3	66	3	74	3	62	3	82	2	46
	2年	3	76	3	81	3	83	3	87	3	97	4	101	3	87	3	82	3	75	2	66	3	74	2	62	3	82
	3年	3	104	3	76	3	81	3	83	3	87	3	97	4	101	3	87	3	82	3	75	2	66	3	74	2	62
	合計	9	261	9	240	9	251	10	267	10	285	10	285	10	270	9	244	9	223	8	215	8	202	8	218	7	190
第三中	1年	2	61	2	60	2	47	2	55	2	50	2	53	2	53	2	32	3	61	2	41	2	31	2	34	1	28
	2年	2	57	2	61	2	60	2	47	2	55	2	50	2	53	2	53	1	32	2	61	2	41	1	31	2	34
	3年	2	61	2	57	2	61	2	60	2	47	2	55	2	50	2	53	2	53	1	32	2	61	2	41	1	31
	合計	6	179	6	178	6	168	6	162	6	152	6	158	6	156	6	138	6	146	5	134	6	133	5	106	4	93
会北中	1年	1	8	1	18	1	22	1	15	1	9	1	12	1	8	1	14	1	7	1	10	1	9	1	9	1	7
	2年	1	13	1	8	1	18	1	22	1	15	1	9	1	12	1	8	1	14	1	7	1	10	1	9	1	9
	3年	1	8	1	13	1	8	1	18	1	22	1	15	1	9	1	12	1	8	1	14	1	7	1	10	1	9
	合計	3	29	3	39	3	48	3	55	3	46	3	36	3	29	3	34	3	29	3	31	3	26	3	28	3	25
塩川中	1年	3	85	4	101	4	103	3	75	4	115	4	93	4	99	4	91	3	82	3	76	3	69	3	62	2	57
	2年	3	83	3	85	4	101	4	103	3	75	4	115	3	93	3	99	3	91	3	82	3	76	3	69	2	62
	3年	3	82	3	83	3	85	4	101	4	103	3	75	4	115	3	93	3	99	3	91	3	82	3	76	3	69
	合計	9	250	10	269	11	289	11	279	11	293	11	283	11	307	10	283	9	272	9	249	9	227	9	207	7	188
山都中	1年	1	6	1	20	1	12	1	19	1	10	1	16	1	7	1	14	1	9	1	9	1	8	1	10	1	7
	2年	1	17	1	6	1	20	1	12	1	19	1	10	1	16	1	7	1	14	1	9	1	9	1	8	1	10
	3年	1	10	1	17	1	6	1	20	1	12	1	19	1	10	1	16	1	7	1	14	1	9	1	9	1	8
	合計	3	33	3	43	3	38	3	51	3	41	3	45	3	33	3	37	3	30	3	32	3	26	3	27	3	25
高郷中	1年	1	9	1	13	1	6	1	15	1	9	1	6	1	8	1	10	1	3	1	4	1	3	1	4	1	4
	2年	1	7	1	9	1	13	1	6	1	15	1	9	1	6	1	8	1	10	1	3	1	4	1	3	1	4
	3年	1	9	1	7	1	9	1	13	1	6	1	15	1	9	1	6	1	8	1	10	1	3	1	4	1	3
	合計	3	25	3	29	3	28	3	34	3	30	3	30	3	23	3	24	3	21	2	17	2	10	2	11	2	11
総合計		42	1,038	43	1,037	43	1,059	44	1,073	45	1,085	45	1,063	45	1,041	43	992	42	946	38	892	37	804	37	785	33	709